

これからはじまる

まちづくりの羅針盤

らしんばん

市では現在、都城大丸跡地を活用し、まちなかの活性化を図るため、中心市街地中核施設整備支援事業を進めています。平成26年度は、市民ワークショップや市民協議会などを通じて、新しい施設の整備方針を取りまとめ、基本計画書を作成しました。今回は、まちなかに整備される施設のイメージなど、基本計画の概要について紹介します。

◎問い合わせ 商工政策課 ☎23-2983

都城市中心市街地 中核施設整備支援事業 基本計画の概要

※今回掲載したイラストは、市民活動をイメージしたもので設計図ではありません。今後、こうしたイメージを基に施設の設計を進めていきます

図書館 旧センターモールを改修整備

2階 図書館機能+国際交流コーナー、学習室など

オープンな児童図書閲覧スペースやグループでも利用できる学習室などを整備。誰もが本に親しめて、誰もが“行きたくなる”図書館を目指します。

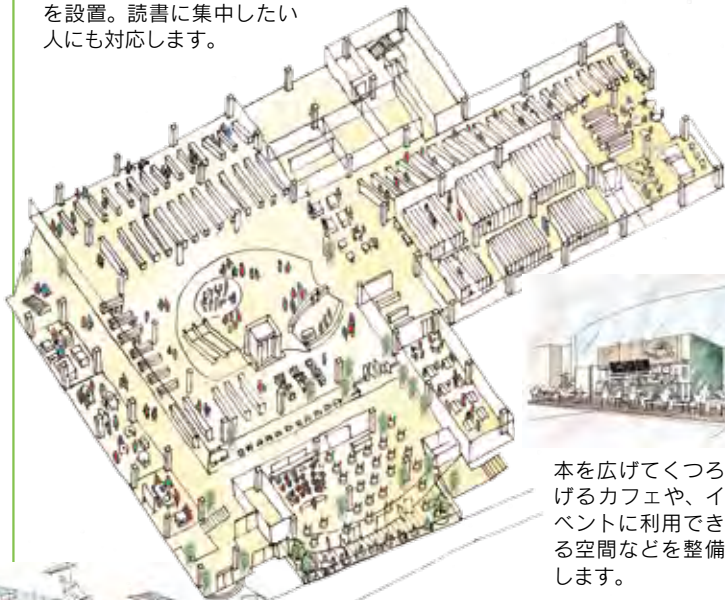


外国の文化や情報に触れられる国際交流コーナーを併設します。



1階 図書館機能+カフェ、ホール、市民活動空間など

豊富な蔵書を見やすく、使いやすく整理。誰もが気軽に利用できて、会話を楽しめる、今までにない図書館を創造します。また、サイレントルームを設置。読書に集中したい人にも対応します。

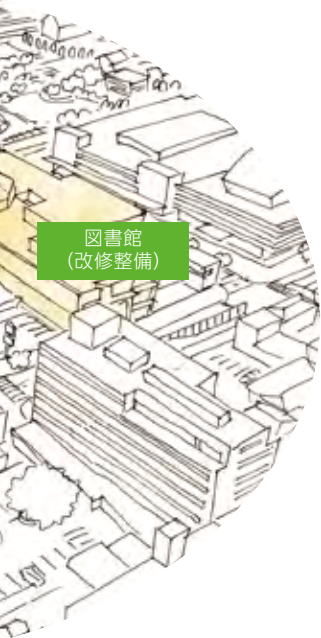


本を広げてくつろげるカフェや、イベントに利用できる空間などを整備します。

創作活動やワークショップなど、市民が自由に使えるスペースを通路に沿って設置。新しい出会いの場を提供します。



に立ち寄り
まり場”
くります



図書館
(改修整備)

この基本計画は、市民アンケート調査の結果などを受け、中心市街地に整備することを決定した各公共施設の配置や機能・設備などについて、整備の方針を取りまとめたものです。



複合公共施設 都城大丸跡地に新設整備

3階 市民健康センター（乳幼児健診など）



乳幼児健診などに使用する健診室や個別相談室のほか、健康教室にも利用できる多目的室、研修や創作活動も可能なギャラリー空間を整備します。

2階 子育て世代活動支援センター

子どもの一時預かり機能も備えた、子育て世代を支援する施設を整備します。



子育て相談や育児中の人たちが情報交換できる空間、子どもが安全に遊べる屋内遊び場や屋外デッキなども整備。また、図書館と施設を連絡通路でつなぎ、移動の安全性を確保します。

1階 ロビー（バス待ち合い）、共用部（調理実習室など）、屋根付き多目的広場

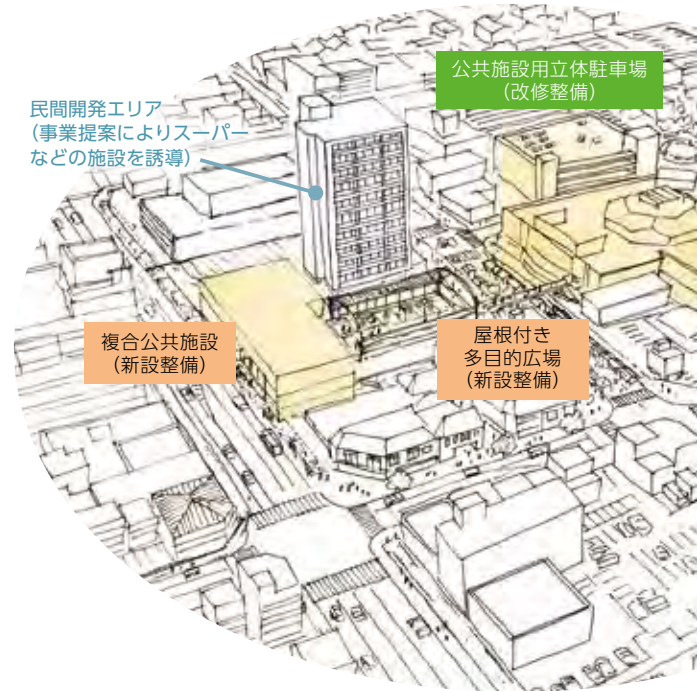


親子おやつ作り教室などにも利用できる調理実習室、休憩や交流、バス待ち合いにも利用できるロビーなどを整備。



屋根付き広場に、オープンカフェやランチカー（屋台）が入れる空間も整備。天候に関わらず、さまざまなイベントを開催できます。

誰もがまちの中心に気軽 新しい絆を結ぶ “た （＝市民の居場所）をつ



民間開発エリア
（事業提案によりスーパー
などの施設を誘導）

公共施設用立体駐車場
（改修整備）

複合公共施設
（新設整備）

屋根付き
多目的広場
（新設整備）

基本計画書は、市のホームページや商工政策課（市役所5階）、図書館で閲覧できます。また、概要版を市役所1階ロビー、商工政策課、図書館、ウエルネス交流プラザで配布しています。

策定に際しては、ワークショップなど市民参加の場を複数設け、実際に利用する市民の皆さんの意見を計画に反映させました。今後は、基本・実施設計を進め、市民の皆さんにもより具体的な施設のイメージをお知らせしながら事業を進めていきます。



国道10号側の外観にも配慮。にぎわいの雰囲気を広げていきます。

合併から10年の歩みと記念事業

都城市新市誕生10周年

平成28年1月1日、本市は新市誕生10周年を迎えます。今回は、合併からこれまでを振り返るとともに、今年度企画しているさまざまな記念事業を紹介いたします。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-2115



新都城市誕生

平成18年1月1日、旧都城市、旧山之口町、旧高城町、旧山田町、旧高崎町が対等合併。人口約17万人の新都城市が誕生しました。

本市は、合併からこれまでの間、圏域の中核都市としての責務を担うとともに、南九州のリーディングシティとしてさまざまな取り組みを進めてきました。

10年間の主な出来事

平成18年（2006）

① 都城市新市誕生記念式典を開催
平成18年7月22日、総合文化ホールで都城市新市誕生記念式典を開催し、市の花「アヤメ」木「ケヤキ」、花木「サクラ」の発表の他、新しい市民憲章を発表。



サクラ



ケヤキ



アヤメ

② 総合文化ホールグランドオープン
その後、愛称を募集し、MJホールに決定。

③ 「焼肉カーニバル」が初開催

観音池公園で「焼肉カーニバル」が初開催。平成26年度は、約1万5千人が詰め掛け、本市産の牛肉、豚肉、鶏肉に舌鼓を打つ。



平成19年（2007）

① 地域高規格道路「都城志布志道路」の整備に着工

② 本市出身の田中幸雄選手（当時北海道日本ハムファイターズ）が2,000本安打を達成

③ ギネスブックが田鍋友時さん（今町・平成21年6月逝去）を男性長寿世界一に認定

平成20年（2008）

① 都城の歴史・文化を発信。「島津発祥まつり」が初開催

平成21年（2009）

① 春高バレーで都城工業高校男子バレーボール部が全国制覇

② 南九州大学都城キャンパスが開学

③ 都城商業高校野球部が夏の甲子園で8強入り

④ 都城盆地博覧会（ボンバク）が初開催
平成24年からは小学生を対象にしたキッズボンパクも開催される。

平成22年（2010）

①市内で家畜伝染病口蹄疫が発生
関係機関が一丸となった迅速な
対応で、被害を最小限にとどめ
る。

②西岳・山田地区で集中豪雨によ
る甚大な被害が発生

③都城大丸・センターモールが閉店
平成23年（2011）

①新燃岳が約300年ぶりに爆発
的噴火

降灰被害に
悩まされる
中、土石流
による2次
被害を警戒
する日々が
続く。

②子育てを支援する都城市ファミ
リー・サポート・センターがオ
ープン

平成24年（2012）

①史上初のプロボクシング日本王
座4階級制覇を果たした湯場忠
志選手に市民栄誉賞を授与

②国内で25年ぶりの金環日食

たしばな天
文台の蓑部
樹生台長が、
アフリカの子
どもたちに
日食グラスを
贈る取り組
みを実施。



③環霧島周遊列車が初運行

翌年の吉都線開業100周年記
念イベントでも運行される。

④王子山遺跡で発見された国内最
古の食用植物を都城歴史資料館
で展示

平成25年（2013）

①はばたけ都城！ 6次産業化推
進大会を開催

農林畜産業のみにとどまらず、
製造業や商業への波及効果や、
雇用の拡大につながる6次産業
化の取り組みを、全市的にパッ
クアップ

②山之口SAにETC装着車両専
用のスマートICの設置が決定

平成28年度
の供用開始
を目指して、
26年度から
周辺道路の
整備事業や
ETC助成
事業が始ま
る。



③都城大丸跡地の土地・建物の再
生計画案の概要が固まる

④市内全ての小中学校に学校運営
協議会を設置

地域に開かれた学校の実現に向
けた取り組みが、市内の小中学
校で始まる。

⑤豪華観光寝台列車「ななつ星」
が運行を開始

平成26年（2014）

①都城志布志道路・活用促進大会
を開催

国や県、沿線自治体の関係者ら
が集まり、都城志布志道路の早
期全線開通と活用の促進につい
て、意志の統一を図る。

②都城市歌を選定

③都城市PRロゴが完成

本市をこれ
まで以上に、
対外的にPR
しようとして
著名な書家
「紫舟」さん
にPRロゴの
制作を依頼。

④都城市PR
キャラクターぼんちくんがPR
活動を開始

⑤ふるさと納税制度をリニューアル
寄付者への
お礼の品を、
肉と焼酎を
メインとし
た品ぞろえ
で、全国か
ら温かい支
援が寄せら
れる。



平成27年（2015）

①琉球国王宛朝鮮国王国書が国の
重要文化財に指定される

②都城市クリーンセンターが稼働

③都城市郡医師会病院、都城夜間
急病センター、都城健康サービ
スセンターが、太郎坊町に移転
開院

④みやこんじょ弁ラジオ体操第1
が完成



都城新市誕生10周年記念事業

市では、市民の皆さんと一緒に
10周年を祝うため、さまざま
な事業を企画しています。事業
の詳細は今後、広報紙などで紹
介します。

【予定されている記念事業】

- ・都城市歌コンサート(6月28日)
- ・夏期巡回ラジオ体操(7月)
- ・ソラシドエア機体活用プロジ
ェクト「空恋」(10月)
- ・ソラシドエアの航空機の機体
にPRロゴを装飾したり、本
市の肉と焼酎を紹介した機内
紙を発行したりして、本市を
全国にPRします。
- ・紫舟氏関連事業(10月)
- ・NHKおかあさんといっしょ
ファミリーコンサート(12月)
- ・10周年記念式典平成28年2月

輝きを増した「3つの宝」



基幹産業である 農林畜産業



市では、本市の持つ「3つの宝」を輝かせる取り組みを進めてきました。今回から3回に分けて、取り組みの内容と成果を紹介するとともに、今後の展望を考えます。第1回目となる今回は、1つ目の宝「基幹産業である農林畜産業」について紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

日本有数の食料供給都市 都城市

本市は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれていて、古くから農業が盛んな地域です。農業産出額では、全国の市町村で2位、九州では1位（いずれも平成18年調査）となり、特に、肉用牛、豚、ブロイラーに関しては、全国1位を誇ります。また、県内有数の普通期水稻の産地でもあり、里芋やゴボウ、ラッキョウなどが多く栽培されています。さらに近年では、加工用野菜の需要増加などに伴い、焼酎用カンショや里芋などの契約栽培が増加しています。

このように素材供給力は全国トップレベルにあります。付加価値を高めた加工品の製造や流通販売の取り組みには、余力がある状況です。市では優れた地域資源をさらに生かして、農林畜産業者の所得向上や地域経済の活性化を図るために、6次産業化に積極的に取り組んでいます。

また、名実ともに「日本一の和牛生産地」の称号を獲得するため、和牛の産地が改良の成果を競い合う「全国和牛能力共進会」での日本一を目指した取り組みを進め、さらなる食料供給都市を目指します。

第1の宝～基幹産業である農林畜産業

都城の基幹産業である農林畜産業の振興

- 6次産業化の推進
- 平成29年度開催の全国和牛能力共進会で日本一を目指す

食料供給都市

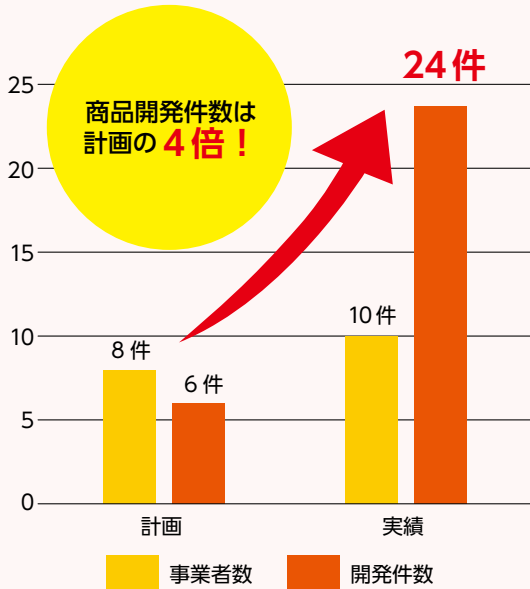
都城が持つ「3つの宝」を輝かせる

基幹産業
である
農林畜産業

都城の
「地の利」

次世代を
担う
子どもたち

6次産業化の成果
新規事業者数と商品開発件数(平成26年度)



6次産業化で開発された商品

6次産業化の推進

平成25年度に、六次産業化推進事務局を新設。窓口の一本化を図るとともに、国や県、関係機関などと一体的に推進体制を強化しました。人材育成や商品開発へのアドバイス、セミナーなどを開催し、事業や制度の周知と取り組みへの意識高揚を図っています。

また、庁内でワーキンググループを立ち上げ、商品開発や販路拡大を支援する「都城市6次産業化推進計画」を策定。計画を基に、生産や加工・製造、流通・販売といったステージごとに、実施者のニーズに合わせたきめ細やかな支

援を行っています。

これらの取り組みが実を結び、平成26年度は、10件の事業者が新たに6次産業化の取り組みを開始。また、24件もの加工品が新たに商品化されました。

六次化情報バンク登録者募集中

インターネット上で農林畜産業者と食品加工業者などとの連携を促す「六次化情報バンク」を開設。生産物などの情報発信やマッチングを支援します。詳しくは、六次産業化推進事務局(☎23-2193)まで問い合わせてください。

全国和牛能力共進会での日本一を目指す!

平成25年度に、畜産課内に「共進会对策室」を設置。平成29年度に宮城県で開催される全国和牛能力共進会に向けて、5カ年計画で生産者をサポートする「和牛五輪GO!5プラン」を進めています。

昨年6月に開催された、第117回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会では、2位、3位、5位を獲得。また、今年2月に開催されたJA経済連系統和牛枝肉共励会では見事金賞を獲得し、日本一に向けての期待が高まりつつあります。今後、生産者や関係機関と一体となって、「日本一の和牛生産地」の称号獲得を目指します。

都城産の牛肉をモンゴルへ



今年度の新たな取り組みとして、本市と友好交流都市であるモンゴル国ウランバートル市に都城産の牛肉を売り込むための事業を実施します。

具体的には、在モンゴル日本国大使館で毎年行われる「天皇誕生日祝賀レセプション」で、モンゴル政府関係者や各国外交官などに都城産宮崎牛を提供。都城産宮崎牛のおいしさを知ってもらい、日本の和牛といえば「都城産宮崎牛」と認知してもらえるように取り組みます。

共進会の成果

- 第117回JA宮崎経済連和牛枝肉共進会(平成26年6月24日) 2位、3位、5位を獲得!
- JA経済連系統和牛枝肉共励会(平成27年2月24日)

1位(金賞)を獲得!



平成27年度都城島津伝承館企画展

薩摩の「もののふ」

薩摩藩・都城の武士の生きかた

今回の企画展では、薩摩藩士や都城の武士たちの実態をもとに、江戸時代の武士がどのような考えで生活していたのかを紹介いたします。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

其の一 江戸時代の武士

寛永14年（1637）、鳥原の乱が終わると、戦いのない時代、「元和偃武」が幕を明けます。「もののふ」と呼ばれ、戦うことを得意として生きてきた武士たちは、戦の無い世となったことでその活躍の場を失いました。

そこで武士たちは、士農工商の頂点に立つ身として、また政治を行う為政者としての立場を示すため、農工商の三民の手本となることを目指し、武士らしい生き方を示そうとしました。



弓道や砲術など武術のあるべき姿を書き記した思無邪

其の二 薩摩藩の武士

藩では、江戸時代に入っても、戦国期までの武士的な気風が残り、風紀の乱れが深刻化していて、現在の自顕流を操る無骨で無口な「薩摩のものものふ」といったイメージとはほど遠いものでした。

そこで藩主が推し進めた対応策の一つが「郷中教育」。この教育は、15・16歳の二才が、小さな子どもたちを指導する独自の教育法でした。これにより「言い訳をしない、誤解されても気にしない、小さなことに動かない」という薩摩武士像が、江戸中期以降に形成されていきました。

この考え方は、後の幕末維新で大いに活躍した薩摩藩士たちの原動力になりました。

其の三 都城領の武士

江戸初期、都城においても武士たちは武芸や学問を学ばず、生活も乱れていました。

この状況に対し、都城島津家18代領主島津久理や20代領主久茂は、人事に不満を訴えた重臣たちを鳥流しにしたり、領内に対し学問や武芸に励むべきと記したお触れを頻繁に出したりするなど、さまざま政策を打ち出していきました。



薩摩の武士、大石兵六が肝試しのために妖怪退治に出掛ける逸話をモチーフにした大石兵六夢物語絵巻

其の四

武士の生き方を探して 薩摩藩の教育政策から

武士の生活が乱れ、学問や武芸の怠慢が問題化したことで、綱紀の建て直しが必要になりました。その為、薩摩藩は学問所（のちの

【会期】7月4日(土)～10月12日(月)
【観覧料】大人210円(160円)
高校・大学生160円(100円)
中学生以下無料
※()内は20人以上の団体料金
本宅は別途、小学生以上1000円



武士の模範のような端正な容姿で描かれた都城島津家21代島津久敷像

藩校造士館)を創設。藩士たちに学問の修練を求め、武芸の鍛錬を心掛けるように指導し、風紀矯正の一翼を担う重要な機関となりました。この頃、藩と同様に都城でも教育改革が実施されていきます。その中で創設されたのが、稽古所(のちの明道館)でした。都城の武士たちは、ここで学問を修め、侍としての振る舞いなどを学びました。明道小学校に掲げられている「学制三章」は、都城の武士たちが武士道精神を学ぼうと奮闘した証です。

総額15億800万円の

プレミアム付き 商品券を発行します

市民の皆さんを対象に、都城商工会議所と市内の6商工会がプレミアム付き商品券を発行します。3割のプレミアムが付いた商品券を使って地元商店で買い物を楽しみましょう。



※都城商工会議所発行の商品券。
デザインは各商工会で異なります

◎問い合わせ 商工政策課 ☎23-29833

まち・ひと・しごと創生

まち・ひと・しごと創生とは、各地域がそれぞれの特徴を生かし、自ら考え自ら行う地域づくり事業のことです。今回、地元の消費拡大や地域経済の活性化を目的に、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用して、プレミアム付き商品券を発行します。利用しやすい、額面1万円と5、000円の商品券を用意しましたので、ぜひ、地元商店での買い物に活用ください。

●**発売開始日** 7月1日(水)～無くなり次第終了

※身体障害者手帳および療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人のみ、6月29日(月)・30日(火)にコミュニティセンターで先行発売(数に限りあり)

●**販売時間** 10時～16時

●**対象者** 市民

●**販売窓口**

都城商工会議所、中郷商工会、庄内商工会、山之口町商工会、高城町商工会、山田町商工会、高崎町商工会(土・日曜日、祝日は除く)
※都城商工会議所では、混雑を避けるために7月1日(水)～10日(金)(土・日曜日を含む)の期間のみ、コミュニティセンターで販売し、販売枚数に達しなかった場合は、7月14日(火)から、都城商工会議所で販売。なお、販売枚数は、それぞれの窓口で限りがあります

●**使用期間** 7月1日(水)～12月31日(木)

●**購入限度額** 1人3万円まで

※5,000円を購入する場合は、1人2セットまで

●**額面** 1万円(1,000円の商品券13枚つづり)

5,000円(500円の商品券13枚つづり)

●**購入方法** 販売窓口で、申込用紙に氏名、生年月日、住所、電話番号、購入枚数などを記入し、現金と運転免許証を添えて提出

※運転免許証で本人確認をします。ただし、運転免許証を持っていない人は、保険証を持参。また、身体障害者手帳および療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人は手帳を持参ください

●**特典** 商品券を購入した人を対象に、ふるさと産品などが当たる抽選会を実施。詳しくは、市や都城商工会議所、各商工会のホームページで確認ください

●**その他**

①商品券は、都城商工会議所、各商工会ごとの取扱加盟店のみの使用に限り

※取扱加盟店には、ポスターが掲示してあります

②商品券の利用限度額は、1回につき15万円

●**販売店舗および問い合わせ**

都城商工会議所 ☎23-00001
中郷商工会 ☎39-0334
庄内商工会 ☎37-0024
山之口町商工会 ☎57-2016
高城町商工会 ☎58-2020
山田町商工会 ☎64-2057
高崎町商工会 ☎62-3131

枚つづり)
5,000円(500円の商品券13枚つづり)

●**購入方法** 販売窓口で、申込用紙に氏名、生年月日、住所、電話番号、購入枚数などを記入し、現金と運転免許証を添えて提出

※運転免許証で本人確認をします。ただし、運転免許証を持っていない人は、保険証を持参。また、身体障害者手帳および療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持っている人は手帳を持参ください

●**特典** 商品券を購入した人を対象に、ふるさと産品などが当たる抽選会を実施。詳しくは、市や都城商工会議所、各商工会のホームページで確認ください

●**その他**

①商品券は、都城商工会議所、各商工会ごとの取扱加盟店のみの使用に限り

※取扱加盟店には、ポスターが掲示してあります

②商品券の利用限度額は、1回につき15万円

●**販売店舗および問い合わせ**
都城商工会議所 ☎23-00001
中郷商工会 ☎39-0334
庄内商工会 ☎37-0024
山之口町商工会 ☎57-2016
高城町商工会 ☎58-2020
山田町商工会 ☎64-2057
高崎町商工会 ☎62-3131



プレミアム商品券取扱店

プレミアム商品券が使用できる取扱店を、11月30日(月)まで随時募集しています。

●**対象**

市内に店舗を有する事業所など
※風営法に規定する店舗などは対象外

●**申込方法**

店舗が所在する管内の都城商工会議所または各商工会の窓口へ提出または郵送

●**持参するもの**

法人印または代表者印

●**その他**

都城商工会議所および各商工会の会員以外は、換金時に手数料3割を徴収します

市民の皆さんが主催する学習会などで、メニューの中からリクエストに応じて市職員が市政の話をする講座です。

◎問い合わせ
生涯学習課 ☎23-9545

◎対象 原則として市内に在住、通勤または通学する10人以上の団体やグループ
◎申込方法 実施予定日の1カ月前までに「ハロー市役所元気講座申込書」を各講座の担当課に提出
◎会場 受講者が準備。使用料は、受講者負担

※各地区公民館やコミュニティセンター、教育集会所は無料
◎時間 9時～21時の間で、2時間以内

※担当課の業務などにより、希望日時に開講できない場合があります

◎受講料 無料。ただし、材料費などが必要な場合があります

◎その他 いずれの講座も、市の職員が担当する仕事について話をするもので、苦情や陳情を受け付ける場ではありません

区分	講座名	担当課・連絡先
市政	市長の出前講座	秘書広報課 ☎23-3174
	都城市の財政について	財政課 ☎23-2113
	都城市の行革について	総合政策課 ☎23-2115
	地方自治制度について	総務課 ☎23-2117
	情報公開とプライバシー保護	
	行政手続き制度について	
	選挙の仕組みについて	選挙管理委員会 ☎23-7864
	市県民税について	市民税課 ☎23-2123
	固定資産税についての豆知識	資産税課 ☎23-2124
	国民健康保険・後期高齢者医療制度について	保険年金課 ☎23-2127
	国民年金制度について	市民課 ☎23-2128
市民課窓口業務講座		
みんなでささえる介護保険	介護保険課 ☎23-2114	
福祉	障がい者福祉サービスについて	福祉課 ☎23-2980
	地域福祉活動について	
	心の健康	
	自殺予防について	保育課 ☎23-4894
	子ども・子育て支援事業について	
	保育所・幼稚園・認定子ども園について	
児童福祉サービスについて	こども課 ☎23-2684	
母子・父子・寡婦福祉サービスについて		
健康	予防接種について	こども課 ☎23-2684
	健康管理① 食育編	
	健康管理② 妊婦編	
	健康管理③ 乳幼児編	
	健康管理④ 成人編(1)	健康課 ☎23-2765
	健康管理⑤ 成人編(2)	
	健康管理⑥ 高齢者編	
	健康管理⑦ 食生活編	
認知症講座	介護保険課 ☎23-2114	
環境	環境学習会	環境業務課 ☎24-5560
	守ろうみんなの大淀川	環境政策課 ☎23-2130
	都城市の地下水について	
	上水道の話	水道局工務課 ☎23-4270
	よりよい水環境をめざして	下水道課 ☎23-5921
産業	都城市の企業立地について	商工政策課 ☎23-2983
	中心市街地の活性化	
	都城市の地場産業について	みやこんじょPR課 ☎23-2615
	都城市の観光・イベント	
都城市の農業	農政課 ☎23-2768	
都市計画	都城志布志道路について	都市計画課 ☎23-2762
	まち学習① 都市計画マスタープラン	
	まち学習② 景観まちづくり	
	まち学習③ 地区計画	

区分	講座名	担当課・連絡先
教育	いじめ、不登校はみんなで解決！	学校教育課 ☎23-9544
	青少年の非行と防止について	
	家庭教育(親の役割)	生涯学習課 ☎23-9545
	乳幼児期のしつけの重要性	
	子どものときからコミュニケーション	
	お父さん、お母さん、もっと聞き上手に	
	親が変われば子どもも変わる	
	絵本と子育て	
	6歳までの「簡単な習慣」が子育ての決め手!	
	思春期における子どもの心理と行動	
今、PTAが楽しい		
高齢者よ、今も旬		
子どもの夢を育む子ども会		
生涯学習について		
人権	男女共同参画社会の実現に向けて	生活文化課 ☎23-2121
	人権感覚を磨こう	生涯学習課 ☎23-9545
国際交流	モンゴル紹介	生活文化課 ☎23-2295
	中国紹介	
	オーストラリア紹介	
文化歴史	美術館講座 鑑賞の楽しみ	美術館 ☎25-1447
	都城2万年の歴史	文化財課 ☎23-9547
図書	図書館への招待	図書館 ☎22-0239
防災	防災講座	危機管理課 ☎23-2129
消費生活	悪徳商法から財産を守る	生活文化課 ☎23-2121
交通安全	犯罪・交通事故のない街づくり	生活文化課 ☎23-7183
議会	議会のしくみ	議会事務局 ☎23-7869
体験しよう!	防火講話	消防局総務課 ☎22-8882
	救命入門コース	消防局警防救急課 ☎22-8883
	救急法講習	
	普通救命講習	
体験しながら学ぶ都城の歴史	文化財課 ☎23-9547	
施設見学	リサイクルプラザ・さいせい館	リサイクルプラザ ☎36-3900
	清流館・清浄館	下水道課 ☎23-5921
	クリーンセンター	クリーンセンター ☎45-6678
	一般廃棄物最終処分場	環境施設課 ☎23-3319
	学芸員ってどんな仕事?	文化財課 ☎23-9547
	来て見て! 「都城島津邸」	都城島津邸 ☎23-2116

※申し込みは、各講座の担当課まで

いま、私たちができること ずいっと暮らしたい都城

みやこんじよ

市では、豊かな地域資源を次の世代へ引き継ぎ、誰もが、いつまでも暮らしたいと思えるようなまちを目指して、「都城環境基本計画」を策定しています。今回はこの計画の中で、特に市民の皆さんに協力をお願いしたい項目について紹介します。

◎問い合わせ 環境政策課 ☎23-2130

資源を大切にすままち

3月から都城市クリーンセンター（山田町）が稼動したことにより、ごみの分別方法が変更になりました。今後、ごみの減量化やリサイクル意識の高揚を図ります。

きれいな水を守り育むまち

生活排水対策のため、上葦原公民館の地区内をモデル地区に指定。また明和小学校で、身近な水環境に関する学習会を開催するなどの取り組みを進めています。

豊かなエネルギー資源を生かすまち

市では、太陽光やバイオマスエネルギーの利用を推進し、地球温暖化の抑制を図ります。これまで、市役所南別館など公共施設への太陽光発電設備の設置に加え、太陽光発電事業者への市有地の賃貸を通して、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。

市民の皆さんの声

環境基本計画アンケートで寄せられた市の環境像に関する意見を紹介します。いずれの意見も、少しの気遣いの積み重ねで実現するものです。まずは、できることから取り組んでみませんか。

- ◎子どもが安全に遊べる場所が随所にあるけれど、もっと安心して遊べる川や山が増えてほしい
- ◎自然を残し、自然と調和のとれた住み良いまちであってほしい
- ◎いつまでも空気が水、緑に恵まれた都城市であってほしい
- ◎いつまでも自然豊かで暮らしやすい環境であってほしい

地域の環境活動に参加してみませんか

市では、都城市環境美化の日や、クリーンアップ作戦、大淀川クリーン作戦など環境にちなんだ行事を行っています。家族みんなで参加して、環境への理解を深めながら、地域活動に協力して私たちの環境を守りましょう。

インタビュー

都城市立明和小学校校長
岡村夫佐さん

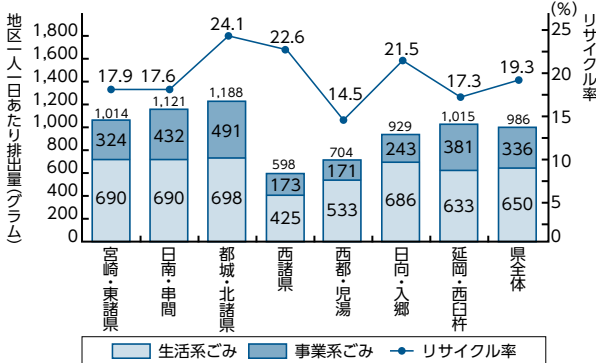


身近な大淀川の水質が岳下橋と志比田橋の間で悪いことを聞き、今、私たちがすべきことは何かを考えています。明和小学校では、子どもの頃から環境意識を高めてもらおうと、昨年からは6年生を対象に、生活排水対策の教育に取り組んでいます。子どもたちが学んだ知識を家庭に持ち帰ることで、保護者の、さらには地域全体の環境意識が高まることを期待しています。

県内各地区別のごみ排出状況

出典：宮崎県的一般廃棄物（平成24年度実績）

◎地区別の1人1日あたりのごみ排出量とリサイクル率



身近でできるCO₂削減の取り組み

1カ月間続けると、次のようなCO₂削減と節約効果が期待できます

CO ₂ 削減項目		CO ₂ 削減量 (kg)	節約額 (円)
冷暖房	冷房を1℃高く、暖房を1℃低く	3.2~3.6	178~202
テレビ	見る時間を1日1時間減らす	1.1	66
洗濯	風呂の残り湯を使う	0.54	342
ジャー	ジャーの保温を止め、冷凍保存	2.8	158
家族の団らん	家族が同じ部屋で過ごす	19.8	866
待機電力	外出時にコンセントを抜く	5	282
自動車運転①	週2日往復8kmの運転を控える	14.7	736
自動車運転②	5分間のアイドリングストップ	3.22	161

出典：全国地球温暖化防止活動推進センター

メタボリックシンドロームの診断基準

●内臓脂肪型肥満

腹囲 男性 85cm以上 (男女とも内臓脂肪面積)
女性 90cm以上 (100cm以上に相当)



上記に加え、以下のうち2項目以上が該当
(1項目が該当の場合は予備群)

●高血糖

空腹時血糖 100mg/dl以上

●脂肪異常

中性脂肪 150mg/dl以上または、
HDL コレステロール 40mg/dl未滿

●高血圧

収縮期血圧 130mmHg以上または、
拡張期血圧 85mmHg以上



健康づくりへの第一歩

特定健康診査・ 後期高齢者健康診査



今年もメタボリックシンドローム(メタボ)に着目した、特定健康診査(特定健診)と後期高齢者健康診査が始まります。健診は、生活習慣病の予防や早期発見につながりますので、必ず受診して健康づくりに役立てましょう。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765

メタボリックシンドローム

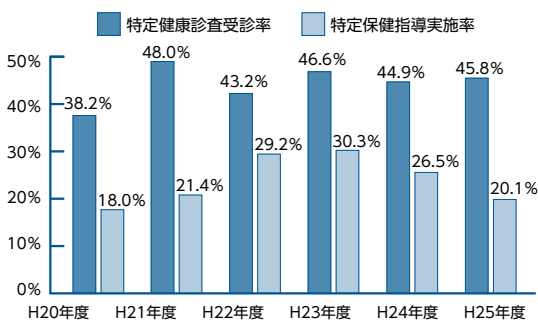
判定基準により、
リスクに合わせた保健指導

積極的支援
(メタボに該当する人)
内臓脂肪減量のための行動目標を立て、
専門家が3か月以上の継続的な支援を行います

動機づけ支援
(メタボ予備群の人)
生活習慣の改善点などの目標を設定し、
行動に移すための支援を行います

情報提供
(健診受診者全員)
メタボの基本的な知識、問題となる生活習慣などについて、
食生活や運動習慣などの面からの情報を提供します

特定健康診査受診率と特定保健指導実施率



◎対象者

〈特定健康診査〉 40歳～74歳の
国民健康保険加入者
〈後期高齢者健康診査〉 75歳以上の
後期高齢者医療保険加入者

◎受診期間

6月1日(月)～10月31日(土)

※追加健診はありません

◎受診場所

指定の医療機関

◎**検査項目** 身長・体重・腹囲・
血圧・尿検査・血液検査ほか

◎受診方法

対象者には、特定健康診査受診券と問診票を郵送しています。問診票に必要事項を記入し、受診券と国民健康保険被保険者証を医療機関の窓口提示してください。
※昨年の健診結果を持っている人は、受診時に持参ください

◎その他

生活習慣病を治療中の人は、主治医に相談してください。
※施設入所者や6か月以上の長期入院者は受診できません。人間ドックなどと重複して受診した場合、特定健診料は自己負担となります

特定保健指導

特定健診受診後、毎年、市内でも約2,000人ほどがメタボやその予備群と判定されています。こうした人を対象にした改善と予防に向けた支援を「特定保健指導」といい、対象となる人には健診結果の通知後に、案内を送付しています。

特定健診受診率と 特定保健指導実施率

特定健診の受診率は、平成20年度より伸びていますが、男女ともに40歳から50歳代が低く、特に女性に比べ男性が低くなっています。また、特定保健指導の実施率は、年々伸びていますが、男女ともに40～64歳までが低く、特定健診と同じく男性が低いのが現状です。
生活習慣を改善することで、生活習慣病の発症を未然に防ぎ、重症化予防にもつながるので医療費も抑えることができます。特に特定健診の対象となる40歳～74歳の人は、年に1回は健診を受け、健康づくりへの第一歩にしましょう。

特定保健指導は、健診結果の程度に応じて医師や保健師、管理栄養士などの専門家と一緒に、食生活や運動方法などの生活習慣を見直していきます。メタボを進行させないために、一緒に目標を立て、その目標を達成できるように、アドバイスを随時行います。
集団指導では、運動指導や栄養相談を行っていて、土・日曜日に開催している教室もあります。集団指導に参加できない人など個別の保健指導を希望する人には、指導員が自宅を訪問して指導を行う場合があります。



高齢者クラブで 生きがいづくり

都城市高齢者クラブ連合会では、高齢者の孤立をなくし、仲間や地域内の高齢者とともに、自立した生活や生きがい、健康づくりを促し、健康寿命を延ばす活動を行っています。今回は、高齢者クラブの活動内容を紹介します。

◎問い合わせ 福祉課 ☎23-2980

高齢者クラブとは

高齢者クラブが発足したその原点は、仲間づくり。家に引きこもりがちな高齢者の孤立をなくし、住み慣れた地域内の仲間同士が、生きがいと健康づくりに努め、生活を豊かにする楽しい活動を行っています。

また、知識や経験を生かし、自治公民館などと共同して地域を豊かにする社会活動を行います。

高齢者クラブの活動

クラブでは、スポーツ活動や文化活動をはじめ、社会奉仕作業など、会員が主体的に活動を行っています。

●生活を豊かにする活動

グラウンドゴルフ・ゲートボールなどのシニア・スポーツや趣味、文化、芸能などのサークル活動、研修会など、日々の暮らしを豊かにする活動を行っています。



グラウンドゴルフ
練習に汗を流し、大きな大会にも出場しています

●地域を豊かにする活動

会員が持つ知識や経験を生かしたボランティア活動や環境美化・リサイクル活動、文化伝承や世代間の交流活動、子どもへの見守り活動など、地域を豊かにする活動を行っています。



小学生の登校見守り
あいさつしながら見守ることで笑顔が増えています

健康 友愛 奉仕



会員を募集しています

おおむね60歳以上の人を対象に会員を募集しています。健康づくりやサークル活動、世代間交流などを通して、地域の皆さんと、生きがいづくりをしてみませんか。また、活動に常時参加できない人でも、会員になることができます。支えあい、喜びを共にできます。

活動の基本単位クラブ

高齢者クラブの会員は、自治公民館ごとに組織された単位クラブで活動しています。単位クラブでは、会員同士が気軽に声を掛け合っただけでなく、住み慣れた地域で活動することができます。

市内には、約128のクラブと約5,300人(男性約1,950人、女性約3,350人)の会員がいます。入会については、相談ください。

●入会申し込み

都城市高齢者クラブ連合会
(愛称…さんさんクラブ都城市)
総合福祉会館内
(都城市松元町4街区14号)
☎24-9700

インタビュー

広原げんきクラブ会長

下池田利秋さん



クラブの会長を引き受けて6年になります。会社を定年退職した頃は、目的や目標を失っていたのか、心身ともに疲れていました。その頃友人に誘われ、広原げんきクラブに入会。仲間との出会いや、カレンダーが予定で埋まると、力が湧いてきます。今では、週3回のグラウンドゴルフで汗を流しています。仲間との何気ない会話も楽しみです。みなさんも高齢者クラブで生きがいを見つけてみませんか。

元気いっぱい都城をPR

平成27年度の都城観光レディが決定し、4月14日に市長を表敬訪問しました。今年度は柳田美波さん（太郎坊町）、櫻川内優奈さん（太郎坊町）、櫻木彩さん（曾於市）の3人が就任。3人は今後1年間、祭りやイベントなどに出演して、本市の魅力を広くPRしていきます。柳田さんは「多くの人に、明るく元気に都城の魅力を伝えたい」、荒川内さんは「肉や焼酎など、都城の美味しい特産物をPRしたい」、櫻木さんは「我慢強い性格を生かしてがんばります。都城のことをたくさん学びたい」と抱負を語りました。



都城観光レディ就任のあいさつ

伝統的工芸品への興味沸く

本場大島紬手織り体験が4月18日、市内の工房で開催されました。国の伝統的工芸品に興味を持ってもらおうと、都城絹織物事業協同組合が開催し、市内外から9人が参加。参加者らは、織り機の扱い方や糸の通し方などの説明を受け、それぞれ好きな色糸で紬を織っていました。山崎順子さん（高崎町大牟田）は「初めは思った通りに織ることができず、手間取ったが、回数を重ねていくうちに織れるようになった。機会があったらまたチャレンジして、思い通りの柄を織ってみたい」と、伝統的工芸品への興味を深めていました。



本場大島紬手織り体験

楽しみながら科学を学ぶ

物づくりを通して子どもたちの想像力を育成する物づくり体験教室が4月19日、カンガエールプラザで開催されました。市内などから小学生30人が参加。LEDを点滅させる電気回路の作成では、ハンダ付けなどに悪戦苦闘しながらも根気良く組み上げ、明かりがつくと声を上げて喜んでいました。



荘内町合併50周年

半世紀の歴史を振り返る

旧荘内町と都城市の合併50周年を記念し、庄内地区まちづくり協議会と西岳地区まちづくり協議会が共同で4月4日、祝賀会を開催しました。地元住民ら約410人が参加。庄内に伝わる南洲太鼓や、菓子野町の小学生ら13人が千草奴踊を披露し、式典に花を添えていました。



物づくり体験

満開のあやめを堪能

祝吉地区まちづくり協議会が主催する早水あやめまつりが4月29日、早水公園多目的広場で開催されました。約42万本のあやめが咲き誇る中、多くの家族連れらが来場。ステージでは地元の小中学生による演奏や、アヤメ音頭総踊りなどが披露され、来場者らは祭りを楽しんでいました。



早水あやめまつり

都城を攻め落とすのは誰だ？

武将になつて城攻めを体験する催しが4月26日、都城歴史資料館周辺で開催されました。現在の歴史資料館付近にあり、一度も攻め落とされることがなかった山城「都城」の築城から640年を記念した企画に、小学生ら54人が参加。参加者らは手作りのよろいを身に着け、昔の城門跡から出発。途中、弓矢を体験したり、敵に扮したスタッフの紙つぶての奇襲を防いだりしながら城に攻め上がりました。鮫島咲翔くん（高崎小5年）は「チャンバラや弓矢など、普段できないことができて楽しかった」と息を弾ませていました。



いざ！春の陣～武将になって城跡探検～

地域貢献活動を学ぶ

市役所新規採用職員の消防団入団研修辞令交付式が5月1日、市役所で行われました。市が新たに組み組む研修で、新規採用職員20人が2年間、地域の消防団員として活動。研修期間中は、防災要員としての基礎研修や災害対応活動の実践研修、防災士の資格取得など地域の防災力の要としての活動を行いながら、安全・安心なまちづくりのための災害対応能力を学びます。高城分団第3部に配属された皆元和己さん（福祉課）は「この研修を通して、少しでも地域に貢献できるようにがんばりたい」と意気込みを話していました。



新規採用職員消防団入団研修辞令交付式

夢に向かってチャレンジ

商業サービス業系の新規創業者を育成するチャレンジショップのオープンイベントが5月3日、同施設内で開催されました。会場内には、4店舗のオープンを祝おうと多くの家族連れらが来場。来場者らは、ショップオーナーから店舗説明や商品説明を聞いたり、サービスを体験したりしていました。



笛水ウオーク

地域を挙げたおもてなし

自然や地元住民との触れ合いを楽しむ笛水ウオークが4月29日、高崎町笛水地区で開催されました。市内外から31人が参加。新緑まぶしい林道などを散策して初夏の里山を楽しんだ後、地域の人たちが作ったそばやがねなどが振る舞われると、参加者らは満足そうに舌鼓を打っていました。



チャレンジショップオープン

金御岳に願いの鐘の音響く

金御岳公園に新たな観光の目玉をつくらうと、中郷地域経済活性化対策協議会による天の金山の鐘の除幕式が5月10日、同公園内サシバ館周辺で開催されました。同協議会の原口善一会長は「地域の宝でもある金御岳の魅力を高めるために設置した。たくさんの方に知ってほしい」と話していました。



天の金山の鐘除幕式

人馬一体
春の到来を告げる
伝統芸能の継承者



下長飯ジャンカン馬踊^{んまおどり}
保存会会長

相葉 雄三さん

五 穀豊穰と無病息災を祈念して、毎年稲作の農作業が始まる春先に奉納されるジャンカン馬踊。都城地方や鹿児島県始良郡一帯に昔から伝わるこの民俗芸能を、今日に伝える下長飯ジャンカン馬踊保存会の会長を務めるのが、相葉雄三さん（下長飯町・74歳）です。

近所の農家が馬を飼っていたこともあり、馬に触れる機会に恵まれていた相葉さんは、誰に勧められるともなく、自然と地元の保存会の活動に参加しました。

米俵を背負い花などを飾りつけた鈴掛け馬が、唄い手や三味線、太鼓の軽快なリズムに合わせて、上下に頭を振りながら足踏みをするジャンカン馬踊。「馬は敏感にいろいろなことを感じ取り、会場が盛り上がって手拍子が起こると気分良く踊る。観客も一緒に人馬一体となって踊れるときが楽しい」と目を細める相葉さん。

現在保存会では相葉さんをはじめ、馬の引き手や三味線、太鼓、踊り手など35人が活動しています。地域の人たちに支えられながら、地元の公民館で練習に励んでいて、市内の祭りやイベントで披露しています。

その他にも、老人ホームや地元小学校の運動会、上棟式や結婚式などの慶事でも披露するなど、地



域に根ざした活動を幅広く行っている同保存会。鹿児島神宮（霧島市）で開催される初午祭にも毎年参加していて、ジャンカン馬踊を見に遠方から訪れるファンもいるほどです。「皆さんの喜ぶ顔が活動の励みになる」と力を込めて話す相葉さん。

保存会のメンバーのほとんどが60歳を超えて、後継者不足が同会の課題。「活動を続けることでジャンカン馬踊の魅力を伝え、郷土に息づく民俗芸能を若い世代にも引き継いでいきたい」と今後の意気込みを話していました。

霧島 環探訪



環霧島探訪では、霧島山を取り巻く宮崎、鹿児島両県の5市2町の情報を紹介しています。今回は、曾於市の「フォレストアドベンチャー・おおすみ」を紹介します。

自然豊かな森の中で大冒険

皆さんは、自然の樹木や地形をそのまま生かした、フランス発祥の体験型アトラクション「フォレストアドベンチャー・アウトドアパーク」を知っていますか。

大自然の中につくられた施設では、木の上で作られた足場まで登り、ロープや滑車を使って木から木へ移動するなど、大人から子どもまで夢中になって楽しむことができます。

九州では、福岡県糸島市と鹿児島県曾於市の2カ所にしかなく、いずれの施設も利用者から好評を得ています。

フォレストアドベンチャー・おおすみ

この施設の建設には、本場フランスの設計者が携わり、厳しいとされるヨーロッパの安全基準をクリア。「登る・渡る・滑る」動作を基本に、体を動かす工夫が施されています。小学1年生から利用することができ、低難易度のコースでは、家族一緒に楽しむことができます。

フォレストアドベンチャー・アウトドアパークの最大の特徴は「自分の身の安全は自分で守る」こと。子どもの自立心を育む上でも最良の施設です。家族一緒に自然の中で本物の冒険を体験してみませんか。



●営業時間 9時～17時

●所在地 曾於市大隅町岩川6048-1 ※「道の駅」おおすみ弥五郎伝説の里南側

●利用料金

小学生～17歳 2,500円
18歳以上 3,000円

◎問い合わせ 曾於市企画課 ☎76-8802

盆地生まれの元気をいただきます!

魚のジャガ芋焼き

※1人分174kcal、塩分1.1g

1日の野菜摂取量は350g

ジャガ芋は、ビタミンB群やビタミンC、ミネラルが豊富。ジャガ芋に含まれるビタミンCは熱に強いので、煮たり焼いたりしても壊れにくく、効率良く摂取することができます。

材料 (4人分)

魚…60g (4枚) ジャガ芋…200g 塩…小 1/3
サラダ油…小1 バター…小2
A【塩…小 1/3 こしょう…少々】
B【小麦粉…小2 カレー粉…小1】
付け合わせ…レタス、ミニトマト、レモン

●下準備

魚…Aを両面に振り、しばらく置く。水分をふき、Bを合わせたものをまぶす
ジャガ芋…千切りにして塩を振り、しんなりしたら水気を切る

●作り方

①フライパンを熱し、サラダ油とバターを入れて4等分にしたジャガ芋を置く。その上に魚を置いて、ジャガ芋に少し焦げ目が付くまで焼く。裏返した後、ふたをして中まで火を通し、皿に盛り付ける。好みて、レタスやミニトマト、レモンを添える



カレー風味なので、魚が苦手な人でも食べられます。魚の代わりに、ジャガ芋の上にチーズを乗せて焼くと、おつまみとして楽しめます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765